

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療保険制度企画調査費	担当部局庁	保険局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和42年度	担当課室	総務課	木下 賢志				
会計区分	一般会計	施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	業務を円滑に推進するために期間業務職員の雇用を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・期間業務職員の雇用							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	73	58	60	63	62	
		繰越し等						
		計	73	58	60	63	62	
	執行額	66	56	58				
	執行率(%)	90.5%	95.7%	97.1%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	業務を円滑に推進するための消耗品等の購入経費であり、定量的な指標を示すことはできない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	期間業務職員数		活動実績 (当初見込み)	人	13	13	17	—
					13	(13)	(17)	(17)
単位当たりコスト	3,439,122(円/期間業務職員年間一人当たり)		算出根拠	平成23年度実績ベース				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	庁費	63	62	賃金単価等の減				
計	63	精査中						

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		国の事業を遂行するために必要な業務の補助のため、国が直接実施するものである。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		期間業務職員の給与として、適正に支出している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		省統一基準として、適正に水準を合わせ妥当なものとなっている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		期間業務職員の給与として真に必要なものとなっている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		国の事業を遂行するために必要な業務の補助として職員の労働力のカバーをしている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		採用人数等見込み見合ったものとなっている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
		※類似事業名とその所管部局・府省名		
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	職員の事業量等を鑑みて、適正な採用を行っていく必要がある。			
予算監視・効率化チームの所見				
現状通り	本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
現状通り	—			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
—				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	231	平成23年行政事業レビュー	231	

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
58百万円

期間業務職員人件費



A. 事務費
58百万円

期間業務職員人件費

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.期間業務職員			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	賃金	期間業務職員賃金等	58			
	計		58	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	期間業務職員A	職員の補助業務	3		
2	期間業務職員B	職員の補助業務	3		
3	期間業務職員C	職員の補助業務	3		
4	期間業務職員D	職員の補助業務	3		
5	期間業務職員E	職員の補助業務	3		
6	期間業務職員F	職員の補助業務	3		
7	期間業務職員G	職員の補助業務	3		
8	期間業務職員H	職員の補助業務	3		
9	期間業務職員I	職員の補助業務	3		
10	期間業務職員J	職員の補助業務	3		